『世界遺産・姫路城の建築技術に触れる』

400年在り続ける城から学ぶサステナブル

国宝 姫路城の歴史と文化

1609年江戸時代初期、五重七階の連立式天守が完成。
櫓等の主要建築物が現存し、国宝や重要文化財に指定。
国の特別史跡、1993年ユネスコの世界遺産（文化遺産）
にも登録され 、日本100名城 などに選定されています。
別名は白鷺城といいます。

姫路SDGs体験型キャリア教育プログラム

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

伝統技術と職人技に触れる

国内には多種多様な職人技がありますが、ここ姫路には国宝姫路城の修繕や保存に大きく関わった文化財修復工事という伝統技術があります。生徒達の探究心を深めます。

SDGsの意義と必要性を学習

SDGsの取組みを理解しづらい生徒達も、歴史・文化と伝統技術の関係を通して学習・体感することで、意義と必要性を学ぶ機会といたします。

姫路城の建築技術から学ぶSDGs

SDGs → 探究学習 → キャリア教育

文化財修復とSDGs

姫路城は「今あるものを大切に使い続けていく」という持続可能な取り組み方で文化財を守ってきました。その豊富な経験から、SDGsを踏まえた文化遺産の守り方を学習することが出来ます。

建築技術ものづくり

姫路城の修復工事でどのような技術が使われたのか、生徒に説明いたします。
その作業の一部を実際に職人の指導の下、体験してもらうことで、職人の仕事のレベルや技術の高さを体感してもらいます。

職人の育成技術の継承

築城から400年間受け継がれてきた技術や文化を教育プログラムの中で体感し、興味を持った子供達が未来の継承者になること、またものづくりの面白さや大切さ等を学ぶことにより、将来の進路選択に役立ててもらいたいと考えています。

体験型教育旅行プログラム

事前学習

旅マエ

【テーマ(問い)を設定】
・姫路城の歴史や文化を知る。
・姫路城の平成の大修理について調べる。
・体験プログラム実施企業について調べる。

【具体的手法】
・学習シートの活用
・現地からのオンラインメッセージ（LIVE or 録画）

現地学習

旅ナカ

【企業訪問】
・姫路城の修繕に関わった伝統産業施設を訪問する。
・姫路城で実際に工事に関わった場所の話を聞く。
・職人さんより当時実施した作業をイメージした体験プログラムを行う。

【姫路城訪問】
・通常の流れでは気が付かない修繕箇所を、説明を受けながら見学

事後学習

旅アト

【振り返り】
・印象に残った場面を振り返り。なぜ印象に残ったのか、職人さんの話や体験の場面で見て・感じて・考えたことを纏める。
・事前学習(旅マエ)で立てたテーマ(問い)の答えを導きだす。

◆SDG's探究の観点での考察

「傷んだ場合は全てを新しく作り直す」というスクラップ＆ビルドの考えではなく、傷んだ部分のみを新しいものに取り換え、木造の建築を保ち続けるという「今あるものを大切に使い続ける」というサスティナブルな取り組み方で文化遺産を守ろうとすることからSDGsの観点を導き出し、自身の生活の中で同様の考え方が出来る部分がないか考える。

◆キャリア教育の観点での考察

企業・職人の方からのお話を聞き、世界遺産・姫路城を支え、住み続けられる街づくりにも通ずるものづくりの技術が伝承されている姿を自身の環境に置き換え、自ら受け継ぎ、未来へ引き継いでいくものを考えることで未来へのビジョンを描く機会とする。